

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和05年07月21日

計画の名称	黒潮町南海トラフ巨大地震等による大規模災害に強いまちづくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	平成29年度 ～ 令和03年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	黒潮町													
計画の目標	本町においては、発生予測が困難で甚大な被害が想定される「南海トラフ巨大地震」による津波避難困難区域の解消及び避難放棄者ゼロを目指すため啓発活動や講演に使用でき、発災時には災害活動ができる施設整備が求められている。 本計画では、避難場所・避難経路・耐震性貯水槽や防災まちづくり拠点施設を整備することにより、避難対策の充実、強化を進め、災害に強いまちづくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		275	A	198	B	32	C	45	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	16.36	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29当初)		(H33末)
1	津波避難困難区域を解消する。			
	津波避難困難者の解消 (避難可能者数／浸水想定区域内住民数)	61%	%	100%
2	必要な防災まちづくり拠点施設を津波浸水想定外区域に整備する。			
	安全な防災まちづくり拠点施設を使用できる地区住民割合 (施設使用可能者数／必要住民数)	33%	%	49%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
黒潮町地域防災計画（平成28年2月）												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	黒潮町	直接	黒潮町	—	—	都市防災総合推進事業（ 藤縄地区外7地区）	避難地N=1箇所、津波避難路N =9箇所、防災まちづくり拠点 施設N=1箇所	黒潮町	■	■	■	■	■	198		—
											小計						198		
											合計						198		

B 関連社会資本整備事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	B13-001	道路	一般	黒潮町	直接	黒潮町	—	—	避難路整備	町道整備 N=2路線 ΣL=570m W=6.0m （入野地区）	黒潮町	■					32		—	
		避難場所となる防災広場に直接繋がる避難路を整備することで、迅速、安全、確実な避難行動が可能となる。																		
												小計						32		
											合計						32			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	施設整備	一般	黒潮町	直接	黒潮町	－	－	災害に強いまちづくり事業	防災用資機材等の整備	黒潮町	■	■	■	■	■	45		－
		防災まちづくり拠点施設の整備に伴い、防災活動のための資機材を整備することで地区の住民の防災活動が充実する。																	
											小計						45		
											合計						45		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 本町で独自に実施	事後評価の実施時期 令和4年度
	公表の方法 黒潮町ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・計画していた路線の整備を行うことによって避難困難区域の解消が図られた。 ・防災まちづくり拠点施設を整備することによって、発災時に安全な避難ができるようになった。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	整備を行った避難場所に防災資機材を合わせて整備することで、より避難場所の機能の向上に繋がった。
○特記事項（今後の方針等）	
引き続き、避難場所の整備を進めていき災害に強いまちづくりを推進していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	津波避難困難者の解消（避難可能者数／浸水想定区域内住民数）		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	
2	安全な防災まちづくり拠点施設を使用できる地区住民割合（施設使用可能者数／必要住民数）		
	最 終 目標値	49%	
	最 終 実績値	49%	